

地域づくり提案事業 成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 25年度

市町村名	小鹿野町					
提案事業名	小鹿野観光おもてなし事業（ソフト事業分）					
事業期間	23年度 ～ 23年度					
成果指標	（成果を検証する指標） 入込み観光客数					
	（成果検証の具体的な方法） ようばけなどのジオサイトのほか、観光施設の入館者やハイキング・登山客など町を訪れる全体の入込み観光客数を把握することにより成果を検証する。					
	（成果の目標値に対する実績）				達成度	C
	従前値 (21年1～12月時点)	235,500人 (1,535,600人)	目標値 (23年1～12月時点)	259,000人 (1,550,600人)	実績値 (23年1～12月時点)	227,319人
	平成23年より、入込み観光客数の計測方法が推計から実測での算出方法へ変更したため、当初の成果指標より大幅な変動が生じた。詳細は【計測方法の変更について】に記載。					
	（施設建設等の場合の実績）					
年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項			町広報及びホームページに掲載して公表する。			

【事業効果の整理・原因分析】

平成23年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ジオサイトと祭り伝統芸能マップの作成	△	町内に散在する、ようばけ、札所31番の磨崖仏、犬木の不整合、二子山等のジオサイトと、四季折々に開催される祭・伝統芸能をピックアップした案内マップを作成し、より地域を深く掘り下げたい来町者などの新たな観光ニーズに応えるマップを作成することができた。
② 里山案内人と訪れる癒しの森ツアー	△	四季の道コース、四阿屋山コース、丸神の滝コース、札所32番一周コースを里山案内人が案内する癒しの森ツアーのパンフレットを作成・配布し、里山案内人が、親切丁寧に案内する癒しの森ツアー「小鹿野里山ウオーク」の宣伝と実施をすることができた。
③ 里山案内人スキルアップ講座	△	講師を招いて、里山案内人スキルアップ講座を開催し、里山案内人の案内のレベルをより向上することができた。
④ 観光トイレ設置事業	○	町内に散在する観光地の汲み取り式トイレを撤去し、水洗式の多目的トイレとして整備することで、利用者の利便性と衛生面の向上を図ることができた。
⑤		
⑥		

【成果検証の総括・改善策の検討】

<p>実施事業について 十分に成果が認められた点</p>	<p>ジオパーク秩父が日本ジオパークの認定を受けたことを受けて、「ジオサイトと祭り伝統芸能マップ」と「里山案内人と訪れる癒しの森ツアー」のパンフレットの作成するとともに、ジオサイトの案内もできるよう里山案内人のスキルアップを図り、様々な観光ニーズのに応え、交流人口の増加を図ることができた。</p>
<p>実施事業について 成果が不十分である点</p>	<p>ジオパーク秩父により一層来てもらうために、小鹿野町だけでなく地域全体のジオサイトについても掘り下げて伝えることができる人材の育成や情報の提供が必要である。</p>
<p>成果検証を踏まえた 今後の改善策</p>	<p>ジオパーク推進協議会と協働して、観光ボランティアの連携やジオサイトを活用した観光を推進する。</p>

【計測方法の変更について】

成果指標に掲げている入込み観光客数について、これまではバス利用者数や公共施設の入館者数、秩父地域の観光客数の増減などで推計し、前年との対比で算出をしていた。しかし、平成23年より実際に施設やイベント等への入込客数を計測し、実測による算出方法に変更したため数値が大きく変動した。

計測方法の変更により従前値と実績値の対比が困難なものになったため、来場者数をカウントしていた施設で別添資料のとおり推計によって観光客を算出した。

また、平成23年については東日本大震災や景気の冷え込み等の影響で観光客の入れ込みが非常に厳しい年であった。

今後は実数による計測をすることで、より実態に近い実績値を把握し、観光客の誘致に努め、観光振興を進めていく。